

遺贈寄付の
基礎と
活用事例を学ぶ

遺贈寄付セミナー

2025年6月20日(金)
14:00～16:30 (開場 13:45)

会場：日本NPOセンター地下会議室
(東京都千代田区大手町2丁目2-1
新大手町ビル245 地下1階)

◎対象：遺贈に関心のある方
(寄付者、弁護士、税理士、司法書士など)

◎定員：15名(先着順)／無料

◎申し込み：

以下フォームよりお申込みください。



※申し込みフォーム

近年、意志ある資金の活用方法として“遺贈寄付”への関心が高まりつつあります。

しかしながら「遺贈先をどう選ぶのか」「大事な財産はどのように活用されるのか」「遺言書の作成をどうするか」「実施のタイミングとは」など、迷うことも多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、*遺贈私論、*遺贈寄付動向、*税制や実務対応の基礎、*実際の寄付事例と課題など、事例とともにご紹介しながら、遺言者の思いを活かすために大事なこと、必要な方法について探っていきたいと思います。

「寄付者の想い」を形にする支援を目指す、弁護士・税理士・司法書士、行政書士など、遺贈に関わる士業の方々や金融機関の方など、ぜひご参加ください。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
担当：山田・駒井 (平日 月～金：10時～17時)
TEL：03-5623-5055 FAX：03-5623-5057
Email：fund_seminar@civalfund.org



遺贈寄付セミナー

～遺贈寄付の基礎と活用事例を学ぶ～

2025年6月20日（金）14:00～16:30

プログラム

- 14:00～14:05 オープニング（主催者あいさつ）
- 14:05～14:30 **趣旨説明・遺贈私論「意志ある資金を活かすには」**
山岡 義典（特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 理事長）
- 14:30～15:10 **知っておきたい「遺贈の基礎知識（税務）」**
早坂 毅氏（税理士・行政書士、有限会社 サテライトオフィス 代表取締役）
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～16:00 **社会に貢献する「遺贈寄付の活用事例」**
実吉 威（公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 代表理事／
特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 理事）
- 16:00～16:30 質疑応答
- 16:30 終了

■ 登壇者プロフィール（敬称略）

- ・山岡 義典（特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 理事長）
大学卒業後、都市計画の研究と実務に従事したのち、1972年にトヨタ財団に入職。研究や市民活動助成に携わる中で、助成財団センター設立にも関わる。1992年に独立後はNPO法の立法推進に尽力し、1997年に有志とともに日本NPOセンターを設立。2000年に法政大学教授（現在は名誉教授）、2001年より市民社会創造ファンド理事長、2012年からは助成財団センター理事長を兼務。企業や個人のフィランソロピーによる市民社会実現が夢。
- ・早坂 毅（税理士・行政書士、有限会社 サテライトオフィス 代表取締役）
（公財）かながわ生き生き市民基金理事、NPO 法人会計基準策定委員。過去に横浜市立大学・関東学院大学等で7年間非常勤講師を務める。大学院にて非営利法人の会計と税務を専攻し、博士課程満期退学。1999年のNPO法成立の頃より、非営利法人に関する業務を開始。過去にC's＝市民活動をささえる制度をつくる会、日本NPOセンター等の監事に就任、国際NGOのJENの監事、理事、副代表も務めた。認定NPO法人申請や公益法人認定支援、遺贈相談など、非営利法人に関し幅広く業務を行っている。事務所は、英語・中国語・韓国語にも対応している。
- ・実吉 威（公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 代表理事）
バブル最盛期に大学卒業、一般企業（金融機関）に就職するも2年で退職。その後、海外バックパッカー、山寺暮らしなどを経て、1995年1月の阪神・淡路大震災をきっかけにボランティア・NPOの世界へ。被災者支援の情報ボランティアから、中間支援の活動へ発展し、以来、民設民営の市民活動センターとしてもっぱらNPO支援に従事してきた。2013年、県内外の仲間と「公益財団法人ひょうごコミュニティ財団」を設立。以来、市民参加のツールとしての「寄付」と市民活動・市民セクターを形成・強化する「助成」の可能性を追求してきた。無認定ファンドレイザー。神戸市中央区社会福祉協議会常任委員、大阪府公益認定等委員会委員等。